

# KPBブロック 高擁壁用



# ●特長

KPBブロック（高擁壁用）は、ブロック単体壁面の大型化を図ると共に多くの付加価値（省力化、省人化、安全性等）を兼ね備えた、最も施工性に優れた大型練積擁壁です。

- ・擁壁高8mまで対応した擬石模様の練積大型ブロック（1個/m<sup>2</sup>）です。
- ・裏壁があるので、裏型枠が軽減できます。
- ・ブロックの控えは750・1000（mm）の2種類です。
- ・専用の基礎ブロックも用意しており、施工手間を省くことができます。

道路土工 擁壁工指針（平成24年度版）の「通常のブロック積擁壁に準じた大型ブロック積擁壁」（解表5-7）に対応しています。

使用に当たって、「国土交通省制定土木構造物標準設計」「道路土工 擁壁工指針」を参考に行ってください。

解表5-7 控長に応じた背面勾配と直高の関係（m）

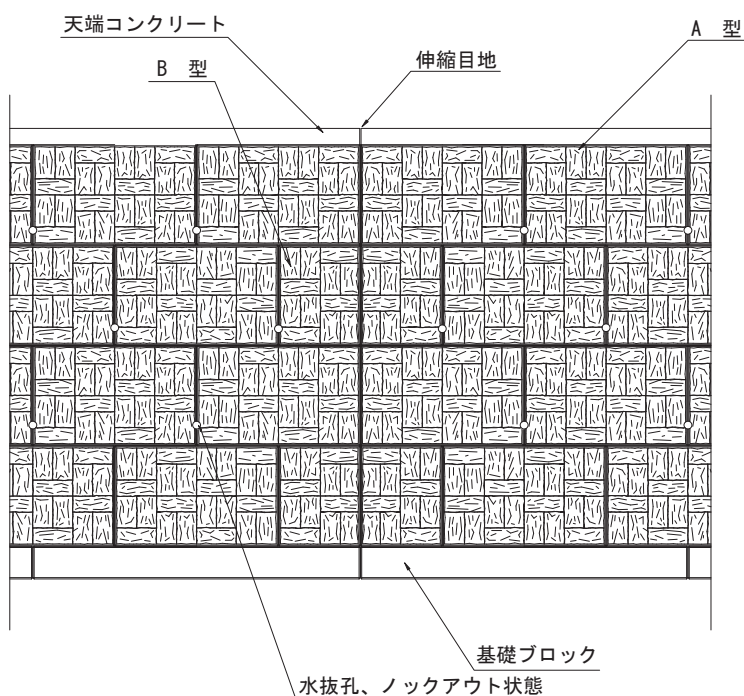
背面勾配		1:0.3	1:0.4	1:0.5
控長	50cm以上	-	~3.0	~5.0
	75cm以上	~4.0	~5.0	~7.0
	100cm以上	~5.0	~7.0	~8.0

注) 上表は、嵩上げ盛土高が直高の1/2程度以下まで適用できる。

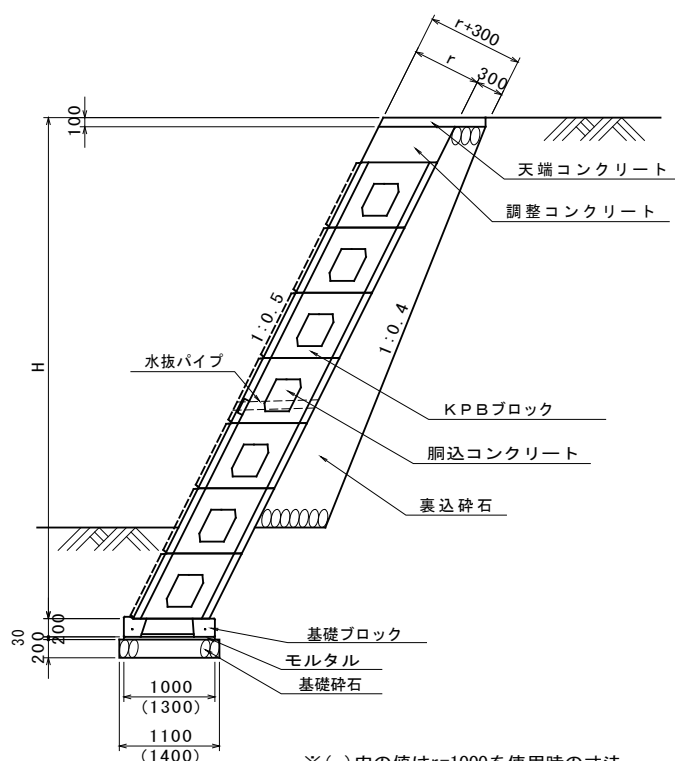
道路土工 擁壁工指針（平成24年度版より）

# ◆展開図

◇正面図



◇断面図



※（ ）内の値はr=1000を使用時の寸法

※ブロック積勾配1:0.3、1:0.4においては、現場打基礎での対応が可能です。詳しくは、弊社までお問い合わせください。



また、もたれ擁壁に準じ構造の大型ブロック積み擁壁(解表5-8)にも対応できます。

解表5-8 背面勾配に応じた直高と最小控長の関係 (m)

背面勾配	1:0.3	1:0.4	1:0.5
直高 H (m)	~5.0	~7.0	~8.0
最小控長 r (m)	0.15H以上	0.12H以上	0.1H以上

注1) 最小控長は50cm以上とする。

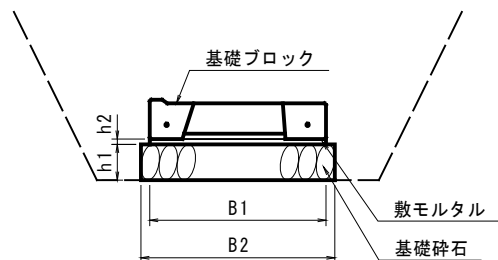
注2) 岩盤などの切土部に法面保護工として用いる場合は、上表によらなくてもいい。

道路土工 擁壁工指針 (平成24年度版より)

擁壁前面勾配、1:0.3~1:0.4のKPBブロック積は、現場打ち基礎にて対応可能です。  
詳しくは、弊社まで問い合わせください。

# ▼施工方法

## ▽掘削および基礎工

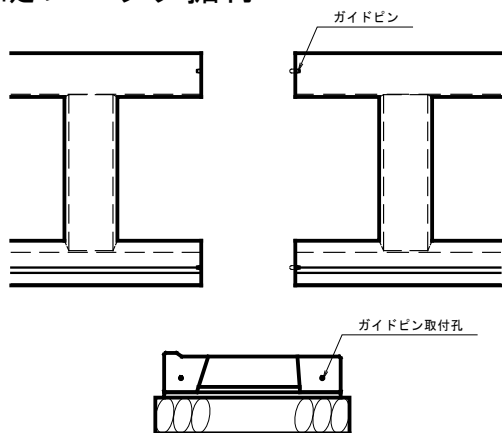


1. 掘削深さは根入れ深さ、基礎砕石、敷モルタル厚さを考慮し、掘削は基礎地盤を乱さないよう行う。
2. 基礎の形状寸法は下表を標準とする。

(単位: mm)

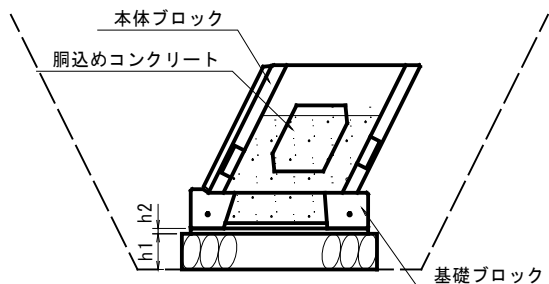
呼び名	B1	B2	h1	h2
750	1000	1100	200	30
1000	1300	1400		

## ▽基礎ブロック据付工



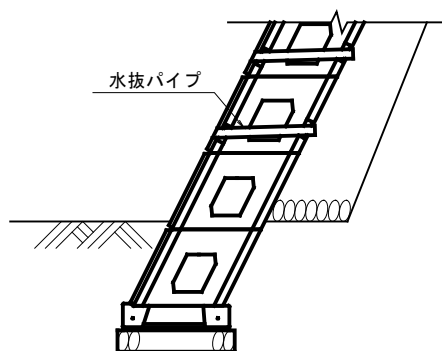
1. 基礎ブロック据付精度の良否で工事仕上り（スピード、出来栄）が決定するので、設計図書通り慎重、且つ確実に進行。
2. 隣接する基礎ブロック間の位置決め調整機能を果たす為のガイドピンを使用する。
3. 敷設後は基礎ブロック開孔部にコンクリートを2/3程度充填し、一体化を計る。

## ▽本体ブロック据付工



1. 基礎ブロック上に本体ブロックを設置する際の敷モルタルは不要。
2. 本体ブロックを所定の位置にセット（基礎ブロック前面より11cm後方）し、据え付ける。
3. 据付後は、ブロックの高さ・水平・勾配を、水系・水平器・勾配定規などで確認する。
4. 裏込め工および胴込めコンクリートは一段ごとに行い、ブロック高さの1/2~2/3程度とする。

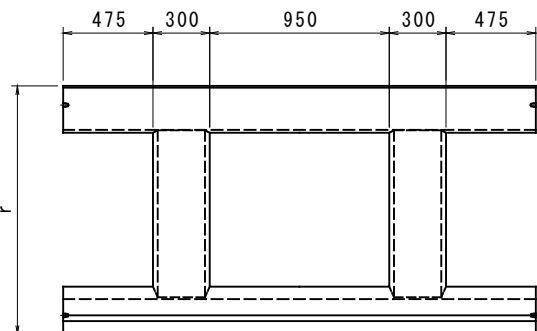
## ▽排水工



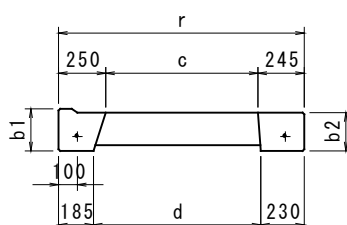
1. 排水工は水抜きパイプを2~3mに一箇所設ける。ただし河川護岸または擁壁前面に水位がある場合は設けない。
2. 水抜きパイプの取り付けは、本体ブロック前・後壁端部下方に一部厚みを切り欠いた残りの部分をハンマー等で打ち抜き、パイプをセットする。

# ■基礎ブロック

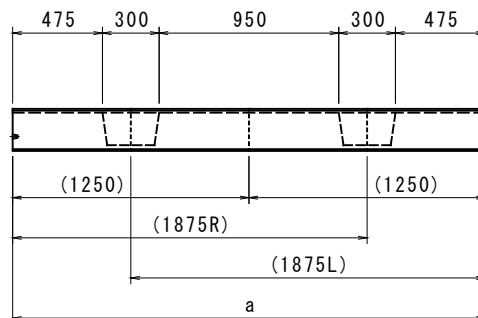
◇平面図



◇側面図



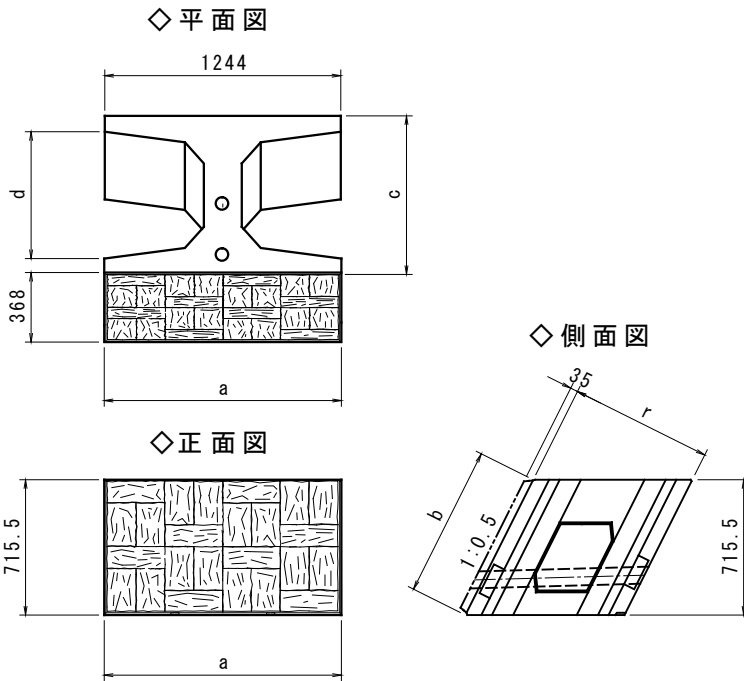
◇正面図



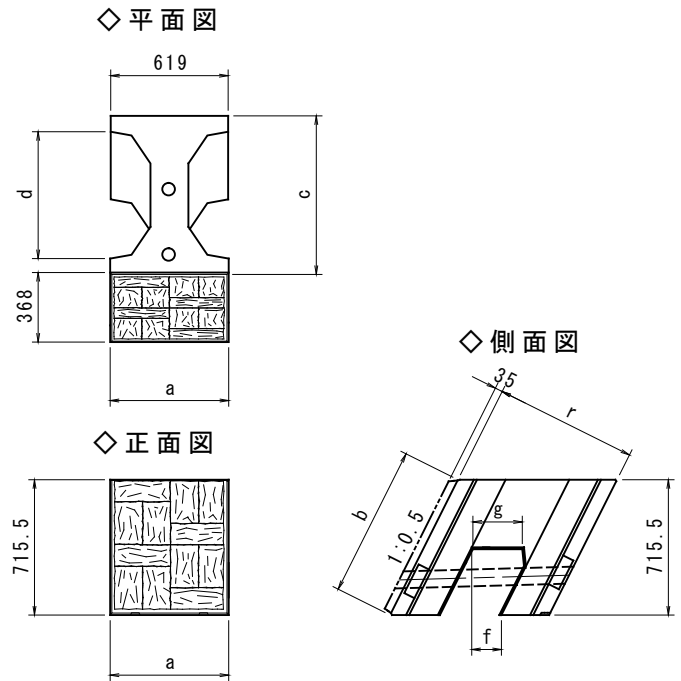
呼び寸法	参考重量 (kg)	寸法 (mm)						胴込量 (m <sup>3</sup> )
		a	b1	b2	c	d	r	
750	662	2500	220	200	505	585	1000	0.268
1000	728				805	885	1300	0.405

# ■ 本体

## □ A 型



## □ B 型



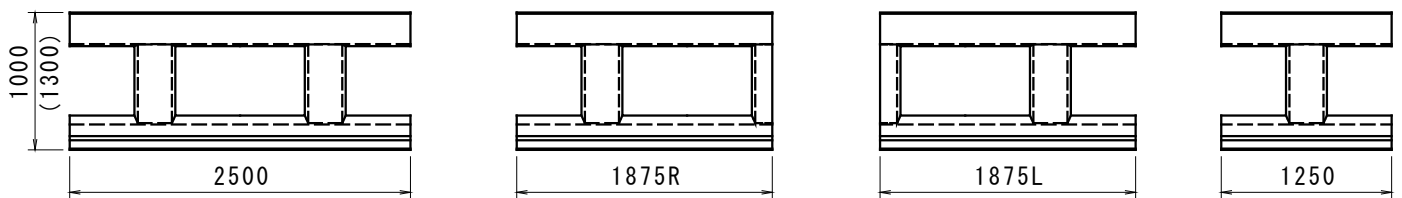
### A型

呼び寸法	寸法 (mm)					参考重量 (kg)	胴込量 (m <sup>3</sup> )
	a	b	c	d	r		
750	1250	800	839	671	750	699	0.466
1000			1118	950	1000	745	0.695

### B型

呼び寸法	寸法 (mm)							参考重量 (kg)	胴込量 (m <sup>3</sup> )
	a	b	c	d	r	f	g		
750	625	800	839	671	750	156	260	440	0.192
1000			1118	950	1000	435	450	490	0.297

基礎ブロック形状図



基礎ブロック割付正面図



## ▼プレキャスト小口止ブロック<NETIS登録番号:QS-140005-VE>

### 小口止め用 サイドブロック

小口止め工とは…

ブロック積み擁壁などの構造物の両端が侵食され破壊されるのを防護するために、コンクリートや矢板、杭などで横断方向に仕切った構造物のことです。

現状では、現場打ちコンクリートで構築することが多いのですが、型枠や支保工の関係で、ブロック積みより先に施工されます。しかし、幅30cmの小口止めは、擁壁高さが高くなればなるほど不安定で、作業上安全とは言えません。また、小口止めコンクリートの養生が完了し型枠を脱型するまでは、小口止め部近傍のブロック積みができないという工程的な制約もあります。

そこで今回開発されたのが  
「小口止用サイドブロック」です。

#### 特長

- 1.1段の高さを50cmに設定しているため、ブロック積みとほぼ同時に積み上げることが可能です。
- 2.小口止用サイドブロックを挟んで、擁壁の反対側も随時埋め戻すことが可能です。
- 3.小口止用サイドブロック1個の重量が100kg程度なので、積みブロックを施工する重機で施工可能です。
- 4.表面一枚岩テクスチャー



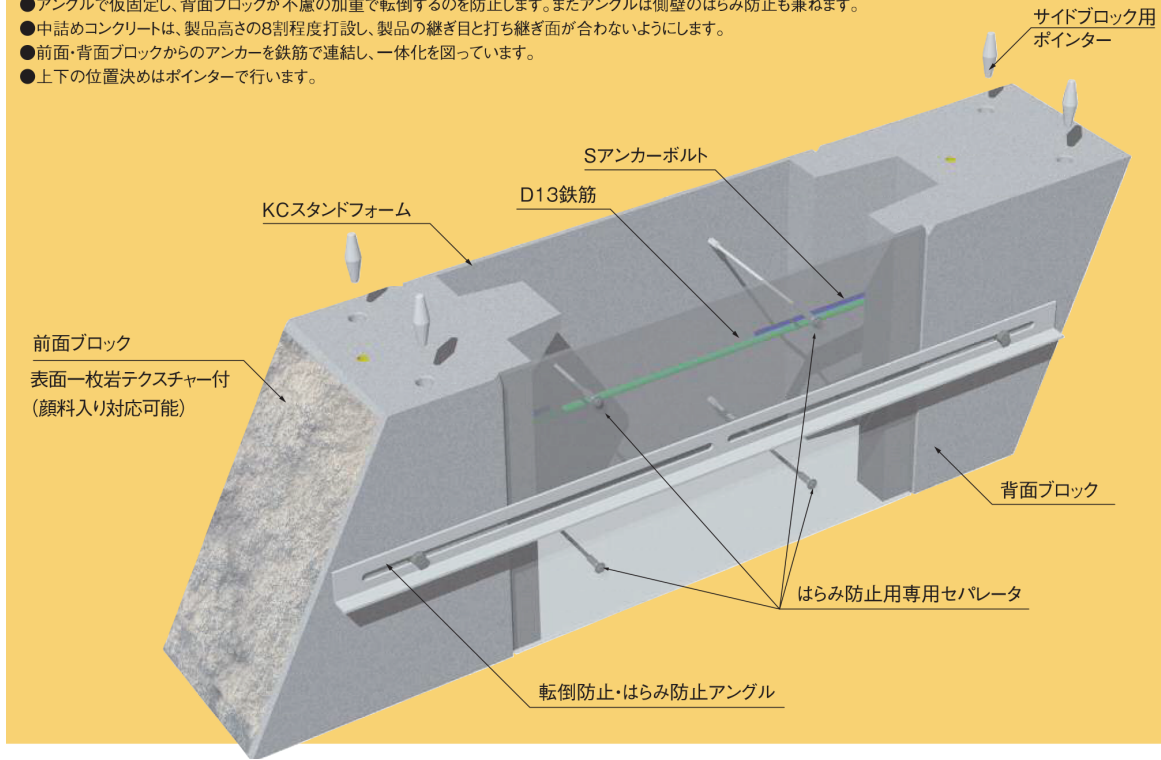
※写真のブロックは、滑面タイプとなります。

#### 施工写真



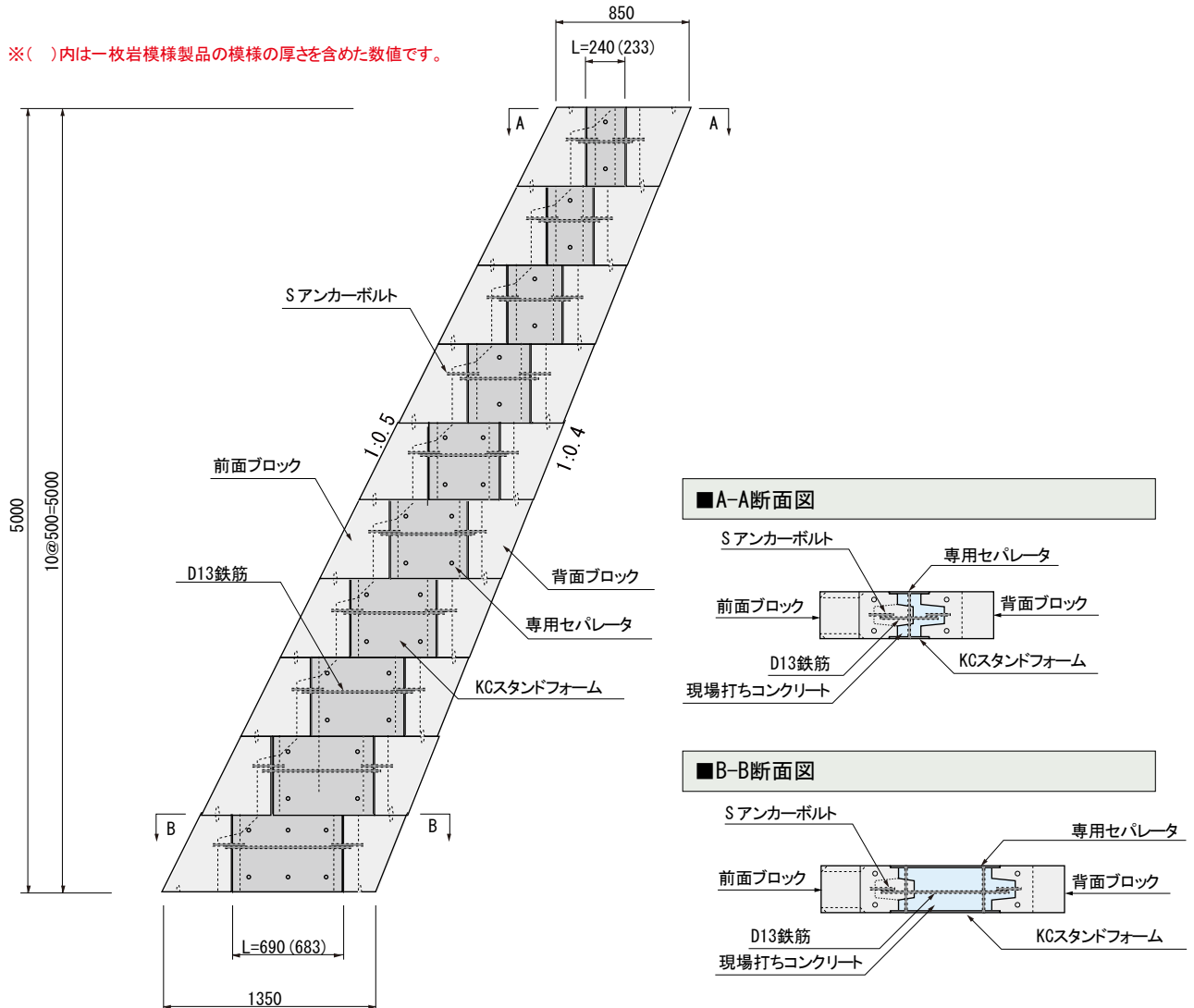
## 小口止用サイドブロック 構造詳細

- 側壁は、現場打ちコンクリートとの付着が良好な「KCスタンドフォーム」を使用します。
- 「KCスタンドフォーム」の長さ調整カット、セパレータ用穴開けは現場加工となります。
- アングルで仮固定し、背面ブロックが不慮の加重で転倒するのを防止します。またアングルは側壁のはらみ防止も兼ねます。
- 中詰めコンクリートは、製品高さの8割程度打設し、製品の継ぎ目と打ち継ぎ面が合わないようにします。
- 前面・背面ブロックからのアンカーを鉄筋で連結し、一体化を図っています。
- 上下の位置決めはポインターで行います。



標準施工断面図（前面5分背面4分勾配用）

※( )内は一枚岩模様製品の模様の厚さを含めた数値です。





本社営業所・工場／島根県松江市東出雲町下意東2384-2  
TEL 0852-52-6112 FAX 0852-52-4349  
出雲営業所・工場／島根県出雲市斐川町神氷2437  
TEL 0853-72-0019 FAX 0853-72-8848  
鳥取営業所・工場／鳥取県東伯郡北栄町下神7-1  
TEL 0858-36-2255 FAX 0858-48-3015  
鳥取第二工場／鳥取県東伯郡北栄町松神1205  
TEL 0858-36-3623 FAX 0858-36-3944